

夏の部優秀賞十首

若き日に賢治遊びしとふ  
けんじ

くらかげやま

鞍掛山に

カタクリの花あまた咲きをり

青森県青森市

木浪 きなみ

みつゑ

東北道の八幡平に  
とうほくどう はちまんたい

グツと出る  
で

なんぶかたふじ りょうせん

南部片富士の稜線が好き  
す

青森県八戸市

三浦 みうら

敬 たかし

ふるさとや

えくぼの友を 偲びつ  
とも しの

杜のみやこの 舟つこ流し  
もり ふね

東京都新宿区

佐藤 さとう

慶子 けいこ

はい、よいしょ、さあどんどんと

わん こえ もりおか とき

腕の声 盛岡の季

おも で あじ

思い出の味

茨城県小美玉市

どい 土井

さなえ 早苗

ちやんかちやんか

馬こ渡ってくる下の橋

賢治兄弟も見さ出はつたと

岩手県盛岡市

おの 小野

いずみ 泉

耳の奥にまた蘇る

中津川の

河鹿の声の涼しかけり

岩手県盛岡市

おの 小野

いずみ 泉

みなづき

水無月の

ひめかみやま いただき

姫神山の頂で

つま と

夫に撮られてよき顔つくる

かお

福島県伊達市

あんざい 安齋

かざこ 和子

友の故郷盛岡と知り

たくぼく

・木を語り込む宵

青春近し

茨城県行方市

鈴木 節子

望郷の丘に行む

ぼうきよう おか たたず

たくぼく ひぐらし

・木と 蛸 を聞く

もりおか なつ

盛岡の夏

岩手県盛岡市

鈴木 充

さんさの夜

よ

とどろくたいこち ちから

轟く太鼓地の力

いわて いし さいなん か

岩手の意思だ災難に勝つ

岩手県盛岡市

三澤 信裕

平成二十三年九月選 夏の部

投稿数 百三十一首

選者 柏崎 驍二氏